

豊岡の水害から学んだこと。

豊岡北中学校二年 米谷 奈美

私は自分の家が実際に床上浸水しました。

台風で警報がでたので明日の学校は休みに
なるだろうと嬉しがっていた自分を、今思う
となんであんなに喜んでいたので、うとすじ
く嫌になつてきます。夜、家の前は少しだけ
水がっついていました。近所の人たちと集団に
なつてコープに避難しました。初めは0時ぐ
らいになると家に戻れるだろうとみんな言っ
ていました。しかし水かさはどうも増えま
いくばかりで、次の日の朝になればコープの
近くに、ある坂が水でいっぱいでした。普段車
が通つていゝ所に、ボートが通つていまし
た。コープはその時避難所になつていなか
たため、食料や毛布などありませんでした。
みんなでジャンパーなどを貸し合つて私は二
回目の夜を過ごしました。

家に帰えるとき、家具も木がぶよぶ
ドロドロではずれていて、家具も木がぶよぶ

よでした。一階に置きっぱなしだったノート
 や教科書もすべて使えなくなりました。重い
 物を運び出す時には男の人が集まったり、誰
 かが買い物に行き食料を分け合ったり、普通
 の学校とは違う体験でした。友達がノートを
 くれたり家の片付けを手伝いにきてくれたり
 人の優しさをとても感じました。私はそんな
 友達がいることを誇りに思い大切にしたいで
 す。又私の家族はまだ家が片付けられていな
 いのに学校に行かせてくれました。部活まで
 もさせてくれました。感謝したいです。学校
 に行くなんてあたり前のことだけどその時は
 学校に行くことがすごく嬉しく思いました。
 災害なので学校に行かない人や部活に行けな
 い人がいる中、私は普段と同じように過ごせ
 ていたことをすごく幸せに思っています。一
 年たった今でもあたり前にしていることでも
 誇りをもって毎日を過ごしてゆきたいです。